

ふくし

176号

2016年3月

●発行●

飯島町社会福祉協議会
飯島町飯島2551番地
TEL 0265(86)5511
FAX 0265(86)5657
HP <http://www.iisyakyo.or.jp>

●印刷●

龍共印刷株式会社



生きがいデイサービス「睦会」のご利用者様と子育て支援センター利用のお母様お子様でお雛様を折り紙で作りました。1時間半ほどで完成全員で記念撮影を致しました。

年数回は、支援センターの皆様とこんな機会を設け交流しております。今回は細かな手作業でしたのでお一人をおんぶしもうお一人が足元にまわりつきながらも高齢者の皆さんの制作に手を貸してくれ完成できました。みなさん大変喜ばれておりました。

内容

第3回飯島町社会福祉大会 …………… P 2・3	おいでな！生きがいデイサービス…………… P 6
社協会長のmail便 …………… P 3	あっとほーむ NO.59 …………… P 7
ボランティア情報さくらそう第163号… P 4・5	こまくさ通信…………… P 7
こんにちは！ヘルパーです。…………… P 6	ボランティア活動保険…………… P 8
元気です。石楠花苑デイサービス …………… P 6	お知らせ…………… P 8

第3回 飯島町社会福祉大会について



平成28年2月21日 日曜日の午後1時より飯島町文化館大ホールにて、飯島町福祉協議会と飯島町ボランティアセンター運営委員会との主催による「第3回 飯島町社会福祉大会」が行われました。

本年のテーマは「みんな同じ空の下飯島町で生きている」と題して行われ、ご来賓として下平町長様、松下町議会議長様、同じく社



会文教委員会の副委員長折山議員様同委員会の滝本議員様、堀内議員様、三浦議員様、竹沢議員様、民生児童委員の小池会長様、同じく竹内副会長様をお迎えし社協の中村副会長の開会からはじまりました。

そして飯島町社会福祉協議会の後藤会長のあいさつでは、現在少子高齢化社会の中で、世界及び日本の状況、飯島町社協での今後の方向性への課題の点が話されました。引き続き、表彰と感謝状等の贈呈が行われました。そして本回でのテーマにそくしたパネルディスカッションを上伊那圏域障がい者総合支援センターきらりあ所長の片桐様、飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ管理者畔上様、手をつなぐ育成会会長坂井



様、虹のポリシエの会会長小林様の4名の皆様により、いままでの各組織運営や体験談等お話を聞き、会の閉会式抽選会とすすみ、午後4時頃終了しました。皆様大変ありがとうございました。



飯島町社会福祉協議会長表彰

○表彰規程第2条該当（役員関係）

- ・ 織田 信行 様（本四）
- ・ 今村 昇 様（柏木）

○表彰規程第2条該当（福祉団体）

- ・ 飯島町手をつなぐ育成会代表 坂井 登 様（荒田）
- ・ 飯島町母子寡婦福祉協議会代表 竹澤百合子 様（春日平）

○表彰規程第2条該当（ボランティア関係）

- ・ 奥田 富子 様（親町）
- ・ 宮澤 和子 様（上ノ原）

○表彰規程第3条該当（寄附金関係）

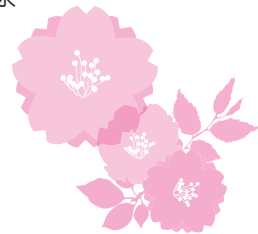
- ・ 石田 尚士 様（中町）
- ・ 鈴木 和昭 様（新田）
- ・ 有限会社トマト代表取締役 宮下 幹康 様
- ・ 長野県倫理法人会 様
- ・ 南街道高齢者クラブ 様
- ・ 春日平老人クラブ 様
- ・ 飯島町マレットゴルフ愛好会 様



長野県共同募金会長表彰

○共同募金会に対して、一定以上の金品を寄附された方

- ・ 林 公明 様（本郷第六）



会長からの mail 便



この4月から「障害者差別解消法」が施行されます。この法律は障害を理由とする差別を解消するため、障害者が障害のない人と同様に社会に参加するさまざまな機会を均等に確保するためであって、相手方を取締るためではないことに留意しなければならないと記してあります。このように障害者の基本的人権を考える中、第3回飯島町社会福祉大会を多くの社会福祉事業の分野でご協力を頂いております方々のご参加を頂き開催しました。本大会は「みんな同じ空の下、飯島町で生きている」をテーマに福祉サービスを必要とする全ての人を対象として地域福祉に行政や皆さんと一体となり努めて心の通った推進に、更に社会福祉の発展並びにボランティア活動に貢献され又、社協の事業資金にとご寄附を頂いた方々の表彰を執り行いました。パネルディスカッションでは障害者福祉活動支援に指導的立場で携わる方々の実際事例でのお話を聞く事が出来実のある大会となりました。ありがとうございました。



上伊那ブロック ボランティア交流研究集会



ボランティア情報

さくらそと

第163号



上伊那郡内よりボランティアさんが集まりました



手話通訳と要約筆記

第31回上伊那ブロックボランティア交流研究集会が飯島町文化館を会場に1月31日(日)に上伊那郡内より360名余りが集まり盛大に行われました。

今回は飯島町社協が当番で7月から実行委員会を立ち上げ計画を練って来ましたが講師に大阪ボランティア協会常務理事早瀬昇先生をお招きし「ボランティア活動の新しい風」に参加が広がる活動の進め方と題して講演いただき、アトラクションでは飯島町食生活推進協議会のみなさんに「いいちゃん いい食キャラバン」の寸劇をしていただき会場内ほのぼのとした雰囲気につつまれ、笑いの渦でした。午前中は手話通訳を「上伊那手話通訳団」と要約筆記「上伊那要約筆記サークルまねきネコ」の皆さんにも参加して



いいちゃん「いい食キャラバン」

いただき通訳をしていただきました。

午後は各市町村の担当でいろいろな分野での分科会を行いました。飯島のボランティアさんには110名を超える皆さんが参加してくださり集会を盛り上げていただきました本当にありがとうございました。また実行委員長の土村まさ子さんには大変な気苦労をさせてしまいましたが無事終わる事が出来感謝申し上げます。

講師

大阪ボランティア協会
常務理事

早瀬 昇 先生

1月31日に上伊那8市町村の社会福祉協議会に登録するボランティア約400名が参加し講演会や分科会を通じ交流を深め盛会に飯島町文化館で開催されました。日頃から安全安心な社会の構築に向けて取り組んでいるボランティアが交流情報交換することを目的とし、同じ活動をする人達が集うことで新たな取り組みや課題の解決策を生みだすきっかけづくりを目的にし、開会式で土村まさ子実行委員長は「誰もが住みやすく生き生き暮らせる地域をつくるため、この集いが今後の活動に役立てば幸い」とあいさつ、アトラクションでは町食生活改善推進協議会の「いい食」キャラバンメンバーによる、朝食を取ることの大切さを寸劇で演じ場内を沸かせました。講演会では大阪ボランティア協会、早瀬昇先生による「ボランティア活動の新しい風」参加が広がる活動の進め方と題し、

- 1、ボランティア活動の自由なスタイル。
- 1、ボランティア活動はなかなかスゴイ。
- 1、「絆」助け合いのまちづくりに向けて。
- 1、頑張りすぎて疲れてしまわない。

豊富な知識経験からわかり易い表現と具体的手法で会場を笑わせながらボランティア活動の大切さと支え合い等ご提案を頂き有意義な大会となりました。この後8グループに分かれて実施した分科会では、演歌体操、「バスボム」入浴剤作り、傾聴ボランティア、男性ボランティアの魅力ある活動等の発表があり実りある大会となりました。



講師 早瀬 昇先生

第二分科会
事例発表

事例発表と社会参加のすすめ

南駒里山クラブ代表 堀越寛満

南駒里山クラブは、当初、里山登山道整備と里山歩きを楽しむことを活動の柱に、平成24年3月に発足しました。登山道整備や行事を重ねながら、「自分たちが楽しむだけでなく多くの人たちと一緒に楽しもう。『地元』の里山』でこそできる、多くの人の役に立つサポートをしよう」を基本方針に、ボランティア活動を積極的に取り入れてきました。

現在、年6〜8回の登山道整備と年8〜10回の主催・共催行事を行っています。サポート活動としては、町と教育委員会、小中学校・社協と協力して、小学生ハイキング、中学生登山予備登山、地域おこしイベントや要援者里山散策のサポートなどを行い、参加者と楽しみを共有していきます。今後、地域活性化のために取り



第2分科会事例発表 南駒里山クラブ

組んでいきたいと思っています。

一般に、男性は中高年になって仕事主体の生活から地域社会参加への切り替えにあたり、第一歩をすんなり踏み出せない人が多いと言われています。そこで、ボランティアということをあまり意識せず、「自分が好きなこと、楽しいこと、やりたいこと」をして、何か社会と関わることから始

飯島担当
第八分科会

飯島町には何があるの？

〜ほっと一息バスツアー〜

飯島町では郡内からおいでいただいた皆様に飯島の良い所を見ていただきたいと思いバスツアーを行いました。「飯島陣屋」では丸山歴史民俗専門官より昔のそばなど道具の

説明や飯島陣屋ではどんな仕事をしているのか解りやすく楽しく説明をしていただきました。



飯島陣屋見学

「伊那栗」の加工販売店「信州里の菓工房」に立ち寄りカフェを楽しんだり買い物をしたりとゆつたりとした時間を過ごしていただきました。

参加者の皆さんからは「陣屋」の様子

子がわかって良かった。スイーツが楽しめ講演を良かったので一日楽しかったと言っていました。



信州里の菓工房

める」とよいと思います。親しい仲間と一緒に始めるのもよいでしょう。年を重ねると「歳」が気になります

が、有名な「青春の詩」(サミエル・ウルマンが七十代に作ったとされる)にあるように、人は心の持ち方で青春(若さ)を保つことができます。また、講師の早瀬さんが話されたように、ボランティア活動で社会とつながりを持つ人は認知症になりにくいとも言われています。自分のためにも地域社会の活動に参加しましょう。

交流研究集会

に参加して



第4分科会 バスボム作り

大阪ボランティア協会 早瀬昇先生のお話しは、形にこだわらず、自由に自分が出来る事、好きな事を長く続けていく事が大事という言葉にとっても感銘を受けました。

阪神淡路大震災や東日本大震災の話の中で、ボランティアの皆さんはたくさん集まったけど、必要とする人がなかなか申し出がなかったという事にもびっくりしました。ただ行けば良いとか、やってやるのにと云う気持ちじゃいけないと教えて頂き、とても勉強になりました。また、午後に行われた分科会では、バスボムを作りました。とても簡単に入浴剤が出来たのも、とてもびっくりしました。使ってみて、自分で作ったせいもありますが、とても爽やかで良かったです。来年も是非、ボランティア交流会に参加したいと思います。

こんにちは!! ヘルパーです

ヘルパー
ワンポイント
アドバイス



ごぼうのささがきをやわらかく水煮にした“やわらかごぼう”という既製品を使ったサラダです。

ごぼうの食物繊維は、水分を大量に吸収して、便をやわらかくし便通を良くする栄養成分があり、次のような効果があります。

- ・体に良い腸内の善玉菌を増やす。
- ・血糖値の急激な上昇を防いだり糖尿病を予防
- ・体内の余分な塩分やコレステロール、老廃物を排出
- ・ガン予防（特に大腸がん）や動脈硬化の予防

“かむ、のみこむ、おいしく、たべやすく”

既製品の介護食材を使う、やわらかごぼうのサラダを紹介します。

【材料】（1人分）

- ・レタス 1枚
- ・トマト 1/8個
- ・やわらかごぼう（介護食品）
大さじ1
- ・フレンチドレッシング（市販）
小さじ2

【作り方】

- ①下処理をする
 - ・レタスは一口大にちぎり、耐熱皿に広げて電子レンジで、1分30秒加熱する
 - ・トマトは皮をむいて2等分する
- ②盛りつける
 - ・皿に野菜を盛り合わせ、ドレッシングをかける



元気です

石楠花苑デイサービス

☎ 86-6067

携帯 080-6937-1962

今年は三寒四温の日があり、インフルエンザやお多福風邪が流行し職員も予防の為にマスクをして利用者様にも気を付けていただくように声掛けをして仕事をしています。

デイサービスでは廊下に職員が描いてくれた職員全員のながお絵が飾ってあります。一人一人の特徴を捕らえていてとても上手に描いてくれています。利用者様にも好評です。

又利用者の入浴の時間の待ち時間を利用して利用者様にもぬり絵をしていただいています。3月と言う事でひな祭り用のぬり絵や梅のぬり絵又男性の利用者様も来苑後すぐからぬり絵を希望されとても上手に仕上げて下さいます。長い廊下に利用者様の絵を飾り職員との会話もはずみます。

少しずつ春の日差しが感じられるようになってきました。デイサービスの苑内はどこよりも早く春がきたように職員が力を出し合い利用者様に楽しんでいただけるよう頑張っています。

・熱がある・下痢をしているなどの症状がある時は必ずご連絡を下さい。休んでいただく事もあります。

おいでな!

生きがいデイサービス

電話 86-5511

携帯 090-4153-8434



1年の集大成として、花力ゴを作りました。花は一輪一輪、和紙や包装紙、布、折り紙などを使った花びらを作り、竹串に1枚1枚、はっていきました。大きさもまちまち、形もまちまちの花は作った方の個性が出て、カゴにさしていくと、それは素敵な花力ゴになりました。作品は、2月21日の飯島社協の福祉大会に展示しました。カレンダーもいっしょに飾りました。昔話を題にして、これも、ちぎり絵にしたり、ぬり絵にしたり、言葉も添えて下さった方もいました。今年度も、皆さんの作品は、一人一人こだわった素晴らしいものになりました。



来年度も今年以上皆さんに頑張って頂き、良い作品を作ってくださいと思います。

社協居宅介護支援
事業所だより

あっとほ〜む♡

No.59

石楠花苑内
☎ 86-6686

介護セミナー

今年度はやらまいか講座の一環として開催しました。

今回は、「終活」より良い人生とどう思えるためにと題し、臨済宗妙心寺派、法城山護国寺杉田寛仁住職にお話をいただきました。

より良い人生だったと
思える為に、何を考え、どう行動すればよいか、豊富な知識と経験をもとにわかりやすくお話ししていただきました。



参加された皆様も、これまでの人生を振り返り、これからを見つめ直す機会につなげていただけたように感じました。

今、社会全般に地域の助け合いが求められています。自分の為だけを考えるのではなく、人の為に出来る事がないか考えることで、日頃からのお互い様の関係を気づいていただきたいと思います。



地域自立支援事業所

こまくさ園

こまくさ通信

☎ 86-6 1 7 2

FAX 86-6 2 8 5



去る2月15日(月曜日)のお昼時に、こまくさ園の食堂にて5人の食事ボランティアの方に真心のこもった料理を作っていただきました。参加者は利用者18人と職員8人、そしてボランティアさん5人の計31人でした。料理は赤飯、白味噌入り粕汁、ほうれん草とエノキタケの胡麻和え、魚介と野菜の風船焼き、デザートはりんごのCCレモン煮、羽広無などの漬物でした。

当日の午前中は作業現場まで美味しそうな香りがたがよってきた、皆でヨダレを垂らしそうになりながら作業を行ないました。挨拶が終わると同時に「いただきます。」と歓声をあげ、その後全員で黙々と料理を味わいました。

どの料理も素材の味をいかし彩りも良く、見た目も味も最高でした。利用者の全員が「とても美味しかった」と、とても満足でした。

友の会の皆様、美味しい料理を本当にありがとうございました。次回来ていただける日を皆心待ちしています。



平成28年度ボランティア活動保険の申込み受付中！

**ボランティア活動をしていて何かあったら心配って思っている皆さん！
「何か」が起きた時のお守りにいかがですか？**

加入対象者 当社会福祉協議会へボランティア登録をしていただき、活動をされている個人・団体

保障期間 平成28年4月1日午前0時～平成29年3月31日午後12時まで
(年度途中での加入も可能です。)

保障内容 本人が、ボランティア活動中に急激かつ偶然に起きた事故によりケガをした場合。または、偶然的な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊してしまった場合。

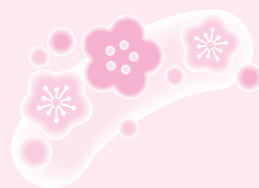
年間保険料 基本タイプ Aプラン300円
Bプラン450円
天災タイプ Aプラン430円
Bプラン650円

天災タイプは地震・噴火・津波によるケガの保障がプラスされます。
1人1口です。ダブルで加入しても1口分のみの保障です。

加入方法 所定の「加入申込書」に必要事項を記入・捺印していただき、「保険料」と共に社協窓口にお持ちください。

対象となるボランティア活動とは、日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」を言い、グループの会則に則り企画立案されている又は社協に届出(登録)されている。又は社協から委嘱されている活動の事です。

詳しくお知りになりたい方は、パンフレットを用意してありますので、お問い合わせいただくか窓口へお越しください。



相談

＜司法書士による無料法律相談＞

・4月●日(●)

午後1時30分～4時

石楠花苑相談室

※予約が必要になりますので電話でお申込み下さい。

電話 86-5511

＜心配ごと相談＞

・4月18日(月)

・5月18日(水)

午前9時～午前11時

石楠花苑相談室

善意をありがとう

ございました

●●●●●

中町 中町寿会様
本郷 本郷高齢者クラブ様

本郷第2 本郷第二女性部様

荒田 荒田いちいの会様

飯島地区地域づくり委員会様

飯島町平成27年度総代自治会長会様

中町 石田尚士様

北町 匿名様

ご厚意を深く感謝し、福祉事業に活用させていただきます。

4月～5月

行事予定

◇給食サービス

4月10日(火)

5月11日(水)

5月31日(火)

東日本大震災

災害義援金

◆3月31日まで

社会福祉協議会

にて受付けております。

書き損じ
ハガキ募集!!

書き損じた年賀

はがき・通常はが

きを集めています。

NPO法人に送り

換金され飢餓に苦

しむ赤ちゃんの栄

養かゆなどになり

ます。

募集場所

社協(石楠花苑)